

価値創造プロセス

Vision 2030 Innovation for the Earth サステナブルな社会の実現に向けてLIFEの基盤を支え、“未来につづく安心”を創造します

ステークホルダーとともに
創出する価値

未来につづく安心

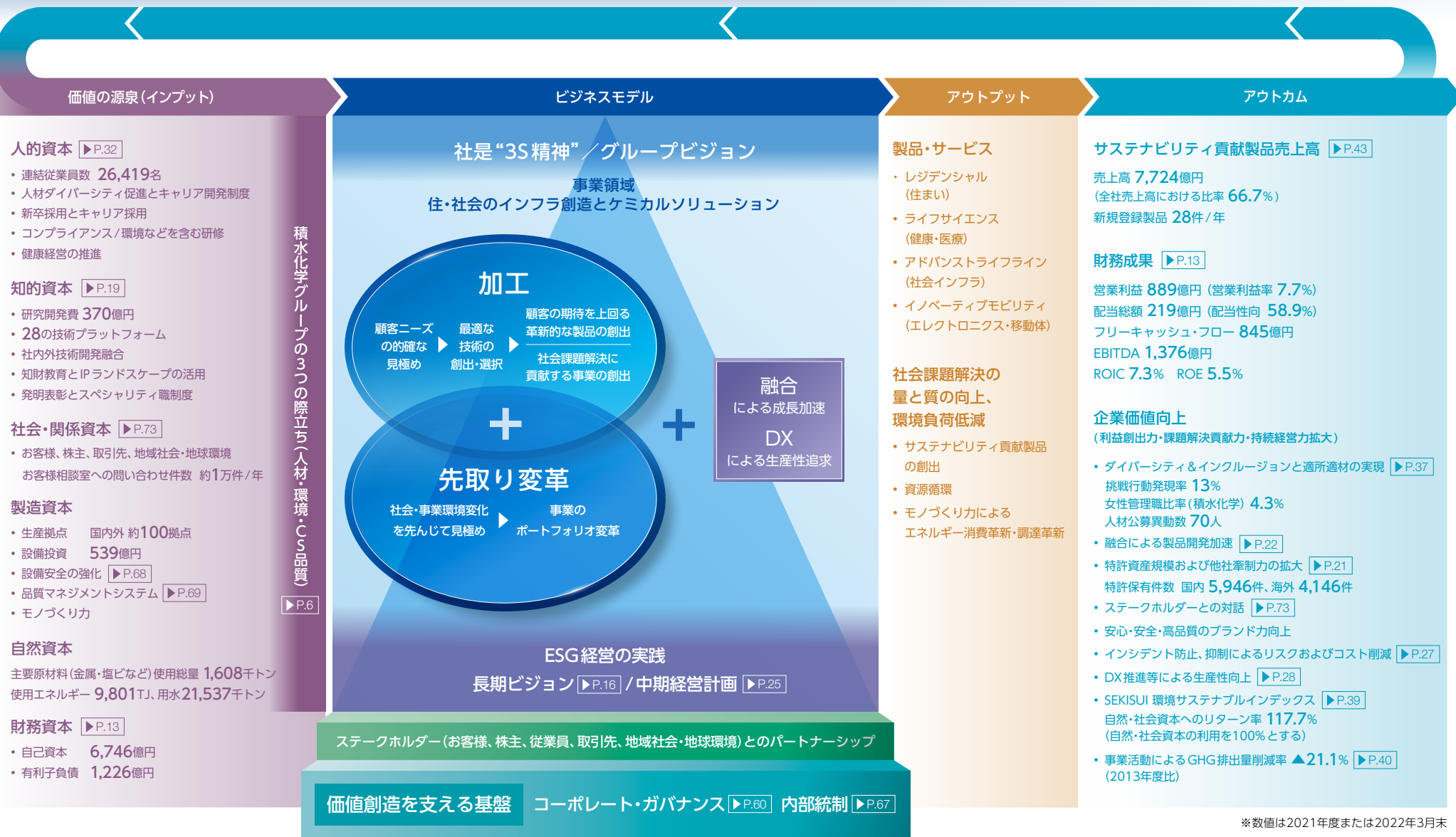
安心・安全・快適なくらし

レジリエントな社会基盤

スマートな移動とコミュニケーション

健康・長寿

想定マクロトレンド
気候変動による災害激甚化
資源・エネルギー枯渇
健康寿命の延長



※数値は2021年度または2022年3月末

解説 積水化学グループの価値創造プロセス

積水化学グループの事業領域と社会課題を解決する製品例

積水化学グループは、主に新築住宅事業を中心としたBtoC事業と、導電性微粒子、自動車向け合わせガラス用中間膜などの先端分野材料、排水管や検査薬等のBtoB事業を有しており、「住・社会のインフラ創造」と「ケミカルソリューション」の事業領域で、「レジデンシャル」「アドバンストライフライン」「イノベティブモビリティ」

「ライフサイエンス」の4つのドメインにおける事業機会拡大を目指し、住宅カンパニー、環境・ライフラインカンパニー、高機能プラスチックカンパニーの3カンパニーとメディカル分野で事業展開しています。

顧客ニーズ獲得から、製品・事業創出までの一連の「加工」プロセスとともに、社会環境の変化に合わせたポートフォリオ改革「先取り変革」を通じて、社会課題解決貢献量を増やし、質を高める「サステナビリティ貢献製品」を創出することで、価値を創造しています。

事業領域	住・社会のインフラ創造			ケミカルソリューション				
ドメイン	レジデンシャル (住まい)	アドバンストライフライン (社会インフラ)	イノベティブモビリティ (エレキ/移動体)	ライフサイエンス (健康・医療)				
成長の方向性	高性能住宅・住関連サービスの提供で、ひとびとの安心・安全・快適な暮らしを支える	多様な機能材料で、グローバルにインフラ課題を解決し、社会基盤を支える	高付加価値材料で、社会・暮らしを進化させるさまざまな機器の発展を支える	進化する医療に貢献する製品・システム・サービスでグローバルにひとびとの健康・長寿社会を支える				
現有事業	住宅カンパニー 住宅、リフォーム、まちづくり、住生活、海外		環境・ライフラインカンパニー 配管・インフラ、建築・住環境、機能材料		高機能プラスチックカンパニー エレクトロニクス、モビリティ、住インフラ材、産業		メディカル事業(コーポレート) 検査、医療	
	 エネルギー自給自足を目標とするスマートハウス[スマートパワーステーション]	 スマート&レジデンスなまちづくり	 耐震型高性能ポリエチレン管	 エスロンRCP	 ディスプレイ・電子機器向け導電性微粒子	 半導体向け実装材料	 血液凝固検査機器 S400CF	 血液凝固検査薬ナノピアP-FDP
	 工業化が進んだ住宅生産工場内部	 住宅生産工場(ユニット)	 管路更生工法(SPR工法)	 大型高排水システム	 スマートフォンやタブレットに使用される液晶部材固定用両面テープ	 自動車/バンパー向け成型品	 糖尿病検査薬ノルティアN HbA1c	 SARS コロナウイルス抗原キット
	 セキスイハイムオーナー向けライフライン・エネルギーのリフォーム	 セキスイハイムの買取再販「Beハイム」によるリノベーション	 鉄道向け合成まくらぎ(FFU)	 航空機内装向けプラスチックシート	 自動車向け合わせガラス用中間膜	 航空機向け部材	 プラスチック製真空採血管	 創薬支援試験
	 サービス付き高齢者住宅	 セキスイハイムオーナーの太陽光発電での余剰電力を買取、有効利用	 医療機器向けプラスチックシート	 高機能樹脂管(MIGUSA)	 雨水貯留システム	 熱膨張性耐火材	 医薬品原薬(API)	 タンパク質医薬向け原料製造受託

現有事業が融合・シナジーを生みながら、4つのドメインにおいて社会課題を解決する製品・サービスを創出

解説 積水化学グループの価値創造プロセス

当社の価値の源泉(インプット)となる3つの「際立ち」と研究開発力

人材

積水化学グループでは、「従業員は社会からお預かりした貴重な財産である」という考え方にに基づき、自ら手を挙げてチャレンジしようとする人を支援してきました。

長期ビジョン実現に向けて、「人材」はイノベーションを生み出す原動力と位置づけ、ダイバーシティや働く環境に考慮し、挑戦する人材の育成に取り組んでいます。

▶P.32

環境

積水化学グループは、1990年代から環境を重要課題と認識し、従来の公害防止に加え、事業活動で発生する環境負荷低減に取り組みました。2003年からはエコロジーとエコノミーを両立させ持続的な成長を目指す「環境経営」を本格化させ、今日でも、SBT認証の取得や、TCFDへの賛同などを通じて、ステークホルダーとの信頼関係を含めた持続可能な経営基盤構築に努めています。

▶P.39

CS品質

積水化学グループは1999年から、お客様満足(CS)に重点をおくCS経営に取り組んできました。モノの品質革新に徹底的にこだわり、お客様の期待に応える価値(商品・サービス)をお届けし、お客様に継続的に当社を選択していただき、お客様とともに長期的に発展、成長し続けることを目指しています。

▶P.69 ▶P.73

研究開発力

積水化学グループにとって、価値創造の根幹は際立つ技術にあると考えています。このベースとなるのが、われわれの2つの事業領域である「住・社会のインフラ創造」「ケミカルソリューション」に関連する28の技術プラットフォームです。これは当社グループの製品群を支えるコア技術であり、長年にわたって培ってきた競争力の源泉とも言うべきものです。

▶P.19

ステークホルダーとともに「加工」と「先取り変革」で創出する価値

積水化学グループは、自社で原材料をほとんど保有しておらず、必要に応じて最適な原料を外部から選定し、高い技術で付加価値を創出する「加工」の力と、顧客要望や社会課題解決のニーズを捉え先んじて開発に取り込み、事業ポートフォリオの変革をしていく「先取り変革」の2つを強みとし、価値を創出しています。そして、その価値は取引先と連携し、従業員が多くの困難に挑戦し打ち勝つことで生み出されています。積水化学グループは社会課題に貢献する高付加価値製品や事業を創出し、安心・安全・高品質のブランド力向上で、さらなる需要を獲得し、事業を拡大していきます。

